

春夏秋冬



武蔵野会ニュース No.166 平成29年7月15日

発行 社会福祉法人武蔵野会

本部 東京都八王子市台町1-19-3 TEL042(623)8509

<http://www.musashinokai.jp/>

特集 平成28年度事業報告書(抜粋)



きね川福祉作業所
創作クラブの皆さん

トピック

科学の進歩に、それを利用する 人間は追いつけるか？

人工知能をはじめ科学の進歩は著しいものがあります。生活に快適さを求めて、様々な発見や発明がされてきました。生活の快適さで言えば、必要なものがなくなっている様な気さえします。10年以上も前から、科学の行きすぎた進歩は人間を滅ぼすと警告してきた科学者がいました。しかし、人間に欲望や探求心がある限り進歩は止められるはずもなく今日に繋がっています。

科学が人間のために使われれば、国境を越えて人類に貢献できます。科学が私欲や国益だけに傾けば、自国や他国の人間や自然を破壊するために科学が使用される可能性が高くなることは歴史や現実が示しています。戦争や内乱での武器の使用はいつまでも続き、核拡散防止は進みません。科学は際限なく進歩しても、利用する人間の理性が追いついていないことは明らかです。

ガンジーは人間の七つの社会的罪を以下のように指摘します。「理念なき政治」「労働なき富」「良心なき快楽」「人格なき学識」「道徳なき商業」「人間性なき科学」「献身なき信仰」

自戒をこめて言えば、今の子どもや生まれてくる子どものために、今からでも、人間は、ガンジーの言葉に耳を傾け、理性を磨く必要があると思います。

社会福祉法人武蔵野会 理事長 高橋 信夫

平成28年度 社会福祉法人武蔵野会 事業報告書(抜粋)

運営全般の報告

改正社会福祉法への対応

第4期中期計画の2年目である28年度は、次年度の改正社会福祉法の本格施行に備えた。法の改正に伴う定款の変更を12月中旬に終え、29年1月の理事会で評議員選任・解任委員として監事と他3名の5人を選任した。また、同理事会で旧法のままで、4月1日就任の理事10人を選任した。2月に評議員選任・解任委員会を開き、4月1日に就任する評議員11人を選出した。評議員は次年度から議決機関となるため旧理事3人が評議員に就任し、理事は執行機関となるため、本部長と施設長等が加わり来年度に備えた。次年度6月の新評議員会で決定する会計監査人の候補者の選定も終えた。福祉法の改正は、社会福祉法人としての経営の透明性、公益性、法令遵守とそれを実現する内部統制が求められている。本部長、本部長、施設

部長は全回に参加し、理念をテーマに話し合い、一昨年と合わせて、2年間で全職員がダイアログ研修に参加した。理念研修は、各地区、各施設、法人を単位に行い、支援介護の基本ブック、職員毎に作成したマイ支援ブックを利用して実施した。

第4期中期計画の3年間は、運営委員や施設長の定年退職が集中し、次世代に引き継ぐ準備期間と位置付けた。昨年度、人材育成方法や研修体制を確立させるために、産能大にコンサルティングを依頼し、若い職員を中心にプロジェクトチームを立ち上げて、今年度で2年が経過した。年度ごとに成果をまとめていくが、検討の経過がクラウドベースのグループウェアを通じて、本部や施設長が確認出来るようになっていて、その過程についても共有することができた。管理職、役職の多面評価や一般職員も含めた職場風土診断は継続し、その結果をもとに、フィードバック研修を行い、施設長、役職が職員の意見に耳を傾け、日常の自身の働きを真摯に振り返る機会を設けた。その結果をもとに作成した施設長行動目標の達成状況を確認するための施設長研修を継続した。28年度から義務化されたストレスチェックは、施設規模の大きい入

設長の理事を執行理事とし、資金計画、法令遵守、人材育成などの役割を持ち、次年度から定期的に理事会で報告することになった。更に社会福祉法の改正では余裕財産(社会福祉充実残額)を明確化し、福祉サービスや地域公益事業に計画的に再投下することが必要となった。余裕財産があれば、社会福祉充実計画を作成し行政に届け出する義務があり、余裕財産がない場合でも地域公益事業の実施が義務化された。武蔵野会は社会福祉法人の使命として地域公益事業については、既にこれまで中期計画に載せてきた。具体的には、厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「HIV長期療養者の福祉施設への受け入れ」、触法障害者の地域定着支援、法人成年後見の推進、東北大震災被災地への毎月1回の支援を継続した。28年度は、東京都社会福祉協議会の中

間の就労促進事業「はたらくサポートとうきょう」の立ち上げに法人として加わり法人内の施設はすべて登録した。触法障害者の支援は、練馬福祉園、さくら学園、大島恵の園、リアン文京などで新しく受け入れた他、精神障害者の裁判に補助人として立ち会った。更に東京都及び周辺地域の関係法人や矯正施設職員、弁護士、教員、新聞記者などで構成する「生きにくさを抱えた人たちの支援者等のネットワーク」の活動に加わり、武蔵野会が中心となって10月に一般社団法人として立ち上げた。

所施設を中心に行った。ストレスが全体的に高く、人事管理面で課題の多い施設は、職場風土調査結果と重なる傾向が明確になった。地区長や本部もバックアップしながら改善に着手した。

プロジェクト実施状況

昨年度から開始した、運営委員による以下の6つプロジェクトは、①利用者契約書の法人統一書式の策定が終了した。②本部移転計画の立案については、建て替えによる資金が高み、移転の資金の目処が立たなかった。③子育て支援制度の検討は、定期的に会議を開き、手当の増額や規程の変更などの成果を残した。④若手の役職職員による10カ年計画策定については、研修PTの終了後に人選する。⑤理事会・評議員会の陪席と議事録作成は輪番で行った。

建て替えと資金計画

施設建て替え計画は、資金計画にそって、さくら学園、武蔵野児童学園、八王子福祉作業所の3施設が終了した。施設整備補助金が入金されるまでは、銀行からの借り入れを行ったが、年度内にすべての支払いが完了

援は、練馬福祉園、さくら学園、大島恵の園、リアン文京などで新しく受け入れた他、精神障害者の裁判に補助人として立ち会った。更に東京都及び周辺地域の関係法人や矯正施設職員、弁護士、教員、新聞記者などで構成する「生きにくさを抱えた人たちの支援者等のネットワーク」の活動に加わり、武蔵野会が中心となって10月に一般社団法人として立ち上げた。

理事会、評議員会、運営会議

28年度の理事会は第269回から272回まで、評議員会は第13回から16回まで、それぞれ4回ずつ計画通りに開催した。法人運営会議は毎月1回、年12回、施設長会議は隔月で6回、計画通りに開催した。事業数が増え、施設長会議は参加者が多くなり、方針の確認や徹底が中心となるため、同日の午前を施設研修実施状況とした。

人材育成と研修

法人運営、利用者支援の基本となる研修として、法人理念の実現のためのダイアログ研修を継続した。昨年度、参加出来なかった経験2年目の職員を中心に、先輩職員も加わり実施した。理事長、本

した。資金計画の基本となる各施設の収支差額に関しては差が出た。地区や職種により、利用者ニーズが異なり、利用率による収入減があり、利用率の向上に繋げる対応と地域ニーズに応える新しいサービスの開始など、施設毎の努力の必要性を感じた。更に昨年度は、東京都検査で指摘を受けて高額の減算を受けた施設が数施設あり、法令遵守、内部統制の課題が残った。

防災関係

安否確認システムの推進は、法人安否確認システム導入後はじめて法人全体で訓練を2回実施した。日本福祉大学と提携し法人間で協定を結んでいる防災ネットワーク研修をリアン文京で2日間に亘って実施した。各施設の防災備蓄状況の把握のためにデータを集めたが、集計については次年度となった。



むさしの 武蔵野

合理的配慮を 考える

先月、練馬区主催の「障害を理由とする差別の解消の推進に関する説明会」に参加したところ、平成29年4月1日付けの内閣府からの「障害者差別解消法【合理的配慮の提供等事例集】」が配布されました。差別解消法がスタート施行して1年。配慮すべきことを再確認する機会となりました。また合理的配慮があまり進んでいないと説明がありましたので、インターネットで合理的配慮の進展を検索したところ、2010年の合理的配慮事例集に気になる事例がいくつかありました。

聴覚障害のある方、「電車に乗って急ぎ止まったとき、音声アナウンスが分からなかった」。最近の電車では、状況報告・途中経過等のアナウンスが入り不安が和らぎます。知的障害の方、「市の広報や書類が漢字だらけで分からない」。当事業所でも振り仮名や、説明してから配布するなど発信文書の配慮をしています。視覚障害の方、「電車の切符を買う時に、自動券売機に点字の表示もあるようだが、場所が分かりづらく買う事が難しい。窓口に係員がい

なくて困った」。音声ガイドや音声で購入できるシステムが普及すると便利だと思います。車いすの方にはスイッチの位置が高すぎる、表示パネルが車いすの角度から見にくいなどの指摘もありましたが、新しい券売機は工夫されて使いやすくなってきています。ユニバーサルデザインにより障害者や高齢者に配慮した工夫が、全ての人が使いやすくなりつつあります。

最後に、病院での場面で聴覚障害の方が「家族と一緒に病院に行ったが、医者は自分には聞こえない両親に説明をした。両親から自分への説明もなく結局よく分からないまま治療を受けることになった」とあり、この方の病状・治療の説明を聞く権利が守られていない残念な事例でした。

我々の支援現場に置き換え、利用者への説明への工夫や自己選択の提供など、事業所の仕組み、規則、慣行、観念も含め、支援が差別的な扱いにならないように意識し、配慮して行きたいと思えます。

練馬区立北町福祉作業所

施設長 村山 俊彦

法人単位事業活動計算書

(自)平成28年 4月 1日 (至)平成29年 3月31日 第二号第一様式 (第七条関係)
(単位:円)

| 勘定科目 | | 当年度決算 | 前年度決算 | 増減 |
|------------------------------------|---------------------------|---------------|----------------|----------------|
| サービス活動増減の部 | 収入 | | | |
| | 介護保険事業収益 | 638,102,130 | 613,839,822 | 24,262,308 |
| | 児童福祉事業収益 | 376,532,681 | 365,404,733 | 11,127,948 |
| | 就労支援事業収益 | 93,020,167 | 84,525,965 | 8,494,202 |
| | 障害福祉サービス等事業収益 | 6,695,388,063 | 6,385,786,710 | 309,601,353 |
| | 収益事業収益 | 2,160,000 | 2,160,000 | 0 |
| | 経常経費寄附金収益 | 23,679,766 | 17,056,070 | 6,623,696 |
| | その他の収益 | 10,694,112 | 13,435,496 | -2,741,384 |
| | サービス活動収益計(1) | 7,839,576,919 | 7,482,208,796 | 357,368,123 |
| | 費用 | | | |
| | 人件費 | 5,026,586,338 | 4,812,934,111 | 213,652,227 |
| | 事業費 | 951,581,099 | 938,351,924 | 13,229,175 |
| | 事務費 | 1,162,415,917 | 1,137,287,680 | 25,128,237 |
| | 就労支援事業費用 | 100,024,129 | 71,325,182 | 28,698,947 |
| | 収益事業費用 | 911,286 | 879,452 | 31,834 |
| | 利用者負担軽減額 | 428,417 | 428,472 | -55 |
| 減価償却費 | 352,964,387 | 278,834,038 | 74,130,349 | |
| 国庫補助金等特別積立金取崩額 | -182,656,964 | -133,110,257 | -49,546,707 | |
| 徴収不能引当金繰入 | -1,250,000 | 0 | -1,250,000 | |
| サービス活動費用計(2) | 7,411,004,609 | 7,106,930,602 | 304,074,007 | |
| サービス活動増減差額(3)=(1)-(2) | 428,572,310 | 375,278,194 | 53,294,116 | |
| サービス活動外増減の部 | 収入 | | | |
| | 借入金利息補助金収益 | 677,373 | 0 | 677,373 |
| | 受取利息配当金収益 | 695,774 | 1,109,666 | -413,892 |
| | その他のサービス活動外収益 | 81,344,361 | 83,087,126 | -1,742,765 |
| | サービス活動外収益計(4) | 82,717,508 | 84,196,792 | -1,479,284 |
| | 費用 | | | |
| | 支払利息 | 2,981,748 | 49,260 | 2,932,488 |
| | その他のサービス活動外費用 | 44,360,607 | 42,804,609 | 1,555,998 |
| | サービス活動外費用計(5) | 47,342,355 | 42,853,869 | 4,488,486 |
| | サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5) | 35,375,153 | 41,342,923 | -5,967,770 |
| 経常増減差額(7)=(3)+(6) | 463,947,463 | 416,621,117 | 47,326,346 | |
| 特別増減の部 | 収入 | | | |
| | 施設整備等補助金収益 | 750,962,380 | 2,182,831,000 | -1,431,868,620 |
| | 施設整備等寄附金収益 | 10,000,000 | 10,678,317 | -678,317 |
| | 固定資産売却益 | 0 | 11,748 | -11,748 |
| | その他の特別収益 | 1 | 4,791,612 | -4,791,611 |
| | 特別収益計(8) | 760,962,381 | 2,198,312,677 | -1,437,350,296 |
| | 費用 | | | |
| | 固定資産売却損・処分損 | 111,407,399 | 927,415 | 110,479,984 |
| | 国庫補助金等特別積立金取崩額(除) | -57,521,451 | -1,389,637 | -56,131,814 |
| | 国庫補助金等特別積立金積立額 | 1,577,648,932 | 1,443,694,950 | 133,953,982 |
| その他の特別損失 | 0 | 353,418 | -353,418 | |
| 特別費用計(9) | 1,631,534,880 | 1,443,586,146 | 187,948,734 | |
| 特別増減差額(10)=(8)-(9) | -870,572,499 | 754,726,531 | -1,625,299,030 | |
| 繰越活動増減差額の部 | 当期活動増減差額(11)=(7)+(10) | -406,625,036 | 1,171,347,648 | -1,577,972,684 |
| | 前期繰越活動増減差額(12) | 6,770,120,210 | 3,816,988,127 | 2,953,132,083 |
| | 当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12) | 6,363,495,174 | 4,988,335,775 | 1,375,159,399 |
| | 基本金取崩額(14) | 0 | 0 | 0 |
| | その他の積立金取崩額(15) | 928,315,396 | 1,976,493,885 | -1,048,178,489 |
| | その他の積立金積立額(16) | 839,012,000 | 181,289,213 | 657,722,787 |
| 次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16) | 6,452,798,570 | 6,783,540,447 | -330,741,877 | |

法人単位貸借対照表

平成29年 3月31日現在 第三号第一様式 (第七条関係)
(単位:円)

| 資産の部 | | | | 負債の部 | | | |
|---------------|----------------|----------------|----------------|------------------------|----------------|----------------|---------------|
| | 当年度末 | 前年度末 | 増減 | | 当年度末 | 前年度末 | 増減 |
| 流動資産 | 3,720,840,294 | 3,900,086,420 | -179,246,126 | 流動負債 | 1,047,335,547 | 990,932,191 | 56,403,356 |
| 現金預金 | 2,073,637,495 | 2,129,537,680 | -55,900,185 | 短期運営資金借入金 | 0 | 100,000,000 | -100,000,000 |
| 事業未収金 | 1,573,446,295 | 1,508,777,566 | 64,668,729 | 事業未払金 | 818,508,860 | 608,815,548 | 209,693,312 |
| 未収金 | 2,756,369 | 2,290,937 | 465,432 | 1年以内返済予定設備資金借入金 | 12,742,364 | 9,371,576 | 3,370,788 |
| 未収補助金 | 17,220,120 | 99,083,329 | -81,863,209 | 1年以内返済予定リース債務 | 11,501,220 | 11,501,220 | 0 |
| 受取手形 | 109,296 | 86,734 | 22,562 | 未払費用 | 66,608,590 | 59,601,448 | 7,007,142 |
| 立替金 | 17,610,645 | 121,750,181 | -104,139,536 | 預り金 | 115,268,800 | 119,228,869 | -3,960,069 |
| 前払金 | 19,710,899 | 9,992,731 | 9,718,168 | 職員預り金 | 21,281,750 | 35,163,478 | -13,881,728 |
| 前払費用 | 16,256,575 | 14,728,079 | 1,528,496 | 前受金 | 90,000 | 120,000 | -30,000 |
| 仮払金 | 92,600 | 13,839,183 | -13,746,583 | 前受収益 | 726,100 | 596,650 | 129,450 |
| 固定資産 | 10,493,140,576 | 9,336,212,615 | 1,156,927,961 | 仮受金 | 607,863 | 46,533,402 | -45,925,539 |
| 基本財産 | 8,239,267,229 | 4,183,845,392 | 4,055,421,837 | 固定負債 | 1,222,576,986 | 968,553,786 | 254,023,200 |
| 土地 | 568,242,917 | 409,827,613 | 158,415,304 | 設備資金借入金 | 792,376,060 | 552,218,424 | 240,157,636 |
| 建物 | 7,671,024,312 | 3,774,017,779 | 3,897,006,533 | リース債務 | 22,288,900 | 33,790,120 | -11,501,220 |
| その他の固定資産 | 2,253,873,347 | 5,152,367,223 | -2,898,493,876 | 退職給付引当金 | 407,482,026 | 382,115,242 | 25,366,784 |
| 土地 | 19,286,478 | 178,207,752 | -158,921,274 | 長期預り金 | 430,000 | 430,000 | 0 |
| 建物 | 173,876,543 | 559,615,243 | -385,738,700 | 負債の部合計 | 2,269,912,533 | 1,959,485,977 | 310,426,556 |
| 構築物 | 285,781,665 | 110,868,659 | 174,913,006 | | | | |
| 機械及び装置 | 2,917,240 | 3,911,048 | -993,808 | 純資産の部 | | | |
| 車両運搬具 | 22,426,646 | 23,604,818 | -1,178,172 | 基本金 | 651,397,735 | 651,397,735 | 0 |
| 器具及び備品 | 279,295,112 | 213,654,530 | 65,640,582 | 基本金 | 651,397,735 | 651,397,735 | 0 |
| 建設仮勘定 | 0 | 2,519,449,428 | -2,519,449,428 | 国庫補助金等特別積立金 | 3,827,558,264 | 2,752,427,949 | 1,075,130,315 |
| 有形リース資産 | 33,790,120 | 38,553,292 | -4,763,172 | 国庫補助金等特別積立金 | 3,827,558,264 | 2,752,427,949 | 1,075,130,315 |
| 権利 | 1,052,580 | 1,052,580 | 0 | その他の積立金 | 1,012,313,768 | 1,102,867,164 | -90,553,396 |
| ソフトウェア | 6,429,464 | 9,830,652 | -3,401,188 | 徴収不能積立金 | 0 | 1,250,000 | -1,250,000 |
| 退職給付引当資産 | 407,482,026 | 382,115,242 | 25,366,784 | 措置施設特定積立金 | 7,246,858 | 7,246,858 | 0 |
| 徴収不能積立資産 | 0 | 1,250,000 | -1,250,000 | 施設整備積立金 | 797,039,198 | 232,780,594 | 564,258,604 |
| 措置施設特定積立資産 | 34,923,858 | 62,923,858 | -28,000,000 | 人件費積立金 | 202,207,712 | 857,619,712 | -655,412,000 |
| 施設整備積立資産 | 797,039,198 | 204,780,594 | 592,258,604 | 工賃変動積立金 | 3,970,000 | 3,970,000 | 0 |
| 人件費積立資産 | 174,530,712 | 829,942,712 | -655,412,000 | 就労設備整備積立金 | 1,850,000 | 0 | 1,850,000 |
| 工賃変動積立資産 | 3,970,000 | 3,970,000 | 0 | 次期繰越活動増減差額 | 6,452,798,570 | 6,783,540,447 | -330,741,877 |
| 就労支援設備等整備積立資産 | 1,850,000 | 0 | 1,850,000 | 次期繰越活動増減差額(うち当期活動増減差額) | 6,452,798,570 | 6,783,540,447 | -330,741,877 |
| 差入保証金 | 8,816,890 | 8,458,250 | 358,640 | 純資産の部合計 | 11,944,068,337 | 11,290,233,295 | 653,835,042 |
| 長期前払費用 | 404,815 | 178,565 | 226,250 | 資産の部合計 | 14,213,980,870 | 13,236,299,035 | 977,681,835 |
| 負債及び純資産の部合計 | 14,213,980,870 | 13,236,299,035 | 977,681,835 | | | | |

武蔵野会 セミナー

6月24日土曜日に、イイノホールにて平成29年度武蔵野会セミナーを実施しました。会場には法人の職員の他、80人を超える一般の方もおいで下さり、500人定員のイイノホールがほぼ満席となりました。

今年は発達障害について取り組み、「共に生きる豊かさのために」というテーマ(サブタイトル「発達障害のある子どもたち・人たちが共に生きる生活」)で開催しました。社会の中で生きにくさを抱えている発達障害の理解を深めるとともに、その方たちと共に生きることの豊かさを考える機会となりました。

第1部の基調講演は、東京都立小児総合医療センターの副院長、田中哲様にいただきました。その人の在り方を否定されず、多様な人を包摂するコミュニティづく



基調講演での田中先生

りの大切さとそのことが社会を豊かにすることについて話されました。

第2部のシンポジウムは、医療・当事者・家族・支援者のそれぞれの立場から、その界を代表する皆様にご登壇いただき、活発な意見交換をしていただきました。医療の立場からは島田療育センター八王子の小沢浩院長、当事者の立場からは「つむぎ発達障害者当事者会代表理事」鈴木俊行様、家族の立場からはNPO法人Wing Pro理事長の新堀和子様、(福)嬉泉東京都発達障害者支援センターの山崎順子センター長にお話を戴きました。どの方のお話も、ご自分の実践が基礎にあるため、感銘深いものがありました。

実践報告表彰式

6月24日土曜日に、平成28年度支援実践集の表彰が行われました。最優秀賞には西水元あやめ園の「クレドカードを用いた現場の風土改善から利用者支援向上に向けて」が選ばれました。風土改善という施設全体の取り組みが、職場風土のみならず利用者支援向上にも繋がったことが評価されました。

優秀賞には小平福祉園、世田谷福祉作業所、大泉町福祉園、白鳥福祉館が選ばれ、高橋理事長から表彰を受けました。受賞者の舞台上で緊張しながらも、誇らしげな表情が印象的でした。



受賞された皆さん



希望の里

自主生産品で野菜を育て出荷しています。春・夏野菜の春菊やブロッコリー、じゃがいもなど17種類の野菜が元気に育ち、好評です。緑色鮮やかな畑にちよつと足を運んでみませんか。

西水元あやめ園

亀有警察署との合同防災訓練を6月3日に行いました。大地震が発生し施設の側を流れる中川が決壊したとの想定で、利用者の方を2階に避難誘導しました。講師では警察署の方の実体験に基づく指導を頂くなど、貴重な訓練となりました。

世田谷区立九品仏生活実習所

6月にデイズニーシーへ一泊旅行に行きました。海上のパレードでは、たくさんの方のキラキラが船の上でダンスを披露して、見ている利用者の方も、笑顔で手を振り返し楽しみました。

世田谷区立駒沢生活実習所

実習所初の試みとして、大規模災害を想定した「災害準備宿泊」を始めます。10人前後の利用者と職員が雑魚寝で一晩過ごし、食事なども非常時対応をします。迫り来る危機に対応できる強い施設を目指します。

新規事業

小平福祉園

小平福祉園では、昨年の4月1日から通所生活介護事業(リーフ)・就労継続支援B型(サンライズ)・児童発達支援(すけっち)・放課後等デイサービス(ぱすてる)の事業を開始しました。通所生活介護(リーフ)では、利用者7名で開所しましたが、小平市社会福祉協議会、近隣の市区町村、特別支援学校からお話を頂き、平成29年4月1日現在で17名の方が在籍をしています。今年度も年度途中に数名の方が入所する予定になっています。

就労継続B型(サンライズ)では、引きこもりの方や企業就労していたが様々な理由で続けることが難しくなり居場所を無くした方など地域で生きにくさ、生きづらさを抱えていた方達が多く在籍しています。皆さん元気一杯登園されています。

児童発達支援(すけっち)では、幼稚園との並行利用をされている子供達が多く在籍をしております。日々地域との連携が求められています。放課後等デイサービス(ぱすて



元気な「すけっち」の子

る)では、様々な遊びや陶芸活動を行っており、思い思いに作品作りを楽しんでいます。

2年前は入所施設だけの運営でしたが、現在は様々な方が通所する施設に生まれ変わりました。先日、体育館で音楽会を行った際は、年齢を問わず沢山の方に参加して頂き、交流する微笑ましい光景に心が和みました。また、新規事業を行ったことで、地域との連携が深まり、いくつかの社会貢献活動も開始し、小平福祉園の地域の中の役割が広がっています。

地域サロン

八王子生活実習所

八王子地区では、6月17日に地域サロンとしてボウリング大会を行いました。八王子市内のグルー

プホームの利用者や地域活動支援センターに通う方、福祉作業所のOBなど、23名の利用者とスタッフやその家族など総数33名のにぎやかな会になりました。

この地域サロンは地域で暮らす知的障害のある方たちの生活をより豊かにする目的で開始し、今年が4年目となります。今年、4月の潮干狩り、6月のボウリングの他、ブドウ狩りやいちご狩りなど、都合6回を計画しています。

地域在住の方たちは、仕事を熱心にしていますが、休日を有効に活用することが苦手です。地域サロンに参加して楽しむことで、日頃の疲れを忘れたり、悩みを話し合ったりする機会になり、地域生活をより充実させるための手伝いになればとの思いで実施しています。

八王子地区の施設障害者支援施設の職員がスタッフとなり、楽しんで戴くよう工夫をして実施する他、施設職員やその家族がボランティアで参加し盛り上げる役をしております。今年、八王子福祉作業所、希望の里、八王子生活実習所の3施設が担当しています。



八王子福祉作業所

「地域生活支援」の一貫として施設の貸し出しや定期的イベントを実施しています。5月はプロのチェリストを招いてミニコンサートを開催しました。地域の皆さんが大勢来訪され、利用者のみならず共にバッハの無伴奏チェロ組曲に魅了されました。

小平福祉園

最近、建て替え1年後の補修工事が終了しました。今後も補修、危険箇所の見直し、より使い易さを求めている工事が続くことと思えます。その時々に合わせて手入れが建物に歴史として刻まれていくでしょう。

リアン文京

多世代交流や地域交流として現在、縁がcafé、カフェコンサートをはじめ、子ども食堂、学習支援、食糧支援を行ってきました。9月より地域の障害者のともだち支援「リアンあゆみクラブ」を実施します。

世田谷区立烏山福祉作業所

6月にコンサルタントやデザイナーなどの専門家を交え、自主生産品の商品開発や販路拡大を目的に戦略会議を行いました。今後も継続し、「工賃アップ」と「利用者へのやりがいのある仕事」の創出につなげます。



永年勤続表彰

6月15日に武蔵野会の永年勤続者を表彰する式を、パレスホテル立川にて開催しました。

今年度の対象者は、勤続30年が5名、20年が4名、10年が24名の、合計33名でした。

理事長から全員への表彰状授与の後、受賞者を代表して八王子福祉作業所の正岡直樹主任が謝辞を述べました。「福祉を仕事に選んだきっかけは、母が障害者を抱き

しめ、こういう人こそ大切にしなければならぬと言ったこと」との内容でした。



永年勤続受賞者

お知らせコーナー

7月

- 8日(土) 世田谷地区実践事例報告会(世田谷地区)
- 22日(土) 夏祭り (八王子地区)
- 22日(土) ひかりまつり(練馬区立光が丘福祉園)
- 27日(木) 工作教室1回目 (希望の里)
- 29日(土) 納涼祭 (西水元あやめ園)

8月

- 1~3日(火~木) 第57回お花茶屋ふるさとまつり参加 (葛飾地区)
- 24日(木) 工作教室2回目 (希望の里)
- 26日(土) サマーフェスタ (武蔵野児童学園)

9月

- 8日(金) 公開講座「生きにくさを抱えた障害者の支援」 (葛飾地区)
- 10日(土) 敬老会(2階フロア) (西水元あやめ園)
- 15・16日(金・土) 宿泊旅行(前半組) (東堀切くすのき園)
- 16日(土) どんどこ祭(世田谷区立駒沢生活実習所)
- 17日(日) 敬老会(3階フロア) (西水元あやめ園)
- 30日(土) GENKIまつり (きね川福祉作業所)

職員募集のご案内

平成30年度新卒採用者向けの職員募集を行います。また、既卒の方は随時採用試験を行っています。ご相談ください。詳しくは、HPをご覧ください。

<http://www.musashinokai.jp>

書類送付先及び問い合わせ先

社会福祉法人 武蔵野会
〒193-0931東京都八王子市台町1-19-3
電話：042-623-8509
FAX：042-623-8539
採用担当：山田 貴美

平成29年度永年勤続表彰者

勤続30年

石野 哲朗

(光が丘障害者生活支援センター)

正岡 直樹 (八王子福祉作業所)

沖田 信弘 (練馬福祉園)

宇田 伸輔 (白鳥福祉館)

吉永 幸代 (烏山福祉作業所)

勤続20年

桑原 祐幸 (光が丘福祉園)

有山 淳 (武蔵野児童学園)

板橋 理香 (武蔵野児童学園)

名幸真理子 (小平福祉園)

勤続10年

原 香織 (武蔵野会本部)

戸田 千尋 (八王子福祉作業所)

武田 篤史 (北町福祉作業所)

御列席された、各施設の保護者の会長から、祝辞を戴き、お祝いの会が和やかに行われました。

笠野 学 (リアン文京)

安井あゆみ (練馬福祉園)

遠藤 恒明 (練馬福祉園)

伊藤 昂 (練馬福祉園)

高橋 宏美 (練馬福祉園)

井上 和子 (武蔵野児童学園)

福田 晴一 (八王子生活実習所)

杉浦 美香 (西水元あやめ園)

青野あゆみ (西水元あやめ園)

福田恵理子 (西水元あやめ園)

池田 裕美 (西水元あやめ園)

松井 哲 (小平福祉園)

太田 純子 (小平福祉園)

福田 真清 (白鳥福祉作業所)

海老名真太郎 (きね川福祉作業所)

小杉健太郎 (さくら学園)

六井 直美 (きね川福祉作業所)

夏八木進也 (大島恵の園)

小川 美和 (大島恵の園)

柳沢 規子 (駒沢生活実習所)

伊藤 樹里 (駒沢生活実習所)

武蔵野会後援会

社会福祉法人武蔵野会が経営する25施設と8つのグループホームの利用者のために、より良い環境や施設の充実・施設の円滑な運営などを、物心両面から支える組織として、武蔵野会後援会があります。皆様のご理解とご協力により、会の拡大をはかり、法人の運営基盤の確立を応援していますので、ご協力をお願い申し上げます。

〒193-0931
東京都八王子市台町1-19-3
電話・FAX 042-626-9772